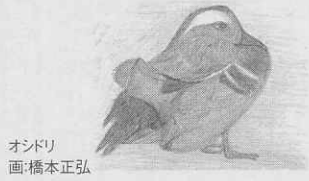


☆公害による健康被害を許すな!  
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



# 大阪から公害をなくす会 ニュース

## 大阪から公害をなくす会

大阪市此花区西九条1丁目4-9  
高田ビル 〒554-0012

TEL 06-6463-8003

FAX 06-6463-8202

oskougai@coast.ocn.ne.jp

発行責任者 芹沢 芳郎

年間購読料一部2,000円(送料共)

郵便振替 00910-7-300387



昨年引き続き各分野から8本の問題提起と報告がされました。先ず、「韓国大田の緑色連合とのNO<sub>2</sub>共同測定と市民運動国際交流シンポジウムの様子と

報告がなされました。

大阪がかかえる深刻な環境問題は決して大阪の公害が終わったと言えない状況にあることや「中国産ぎょうざ」の農薬汚染問題に象徴的な食の安全確保の重要性について」の基調報告がなされました。

「おおさかの食と住-くらしの基本を考える」をテーマに「大気汚染や全国一熱い大阪など、

### 第36回 公害・環境デー

## 熱気あふれる集会和 和気あいあいの郷土食パーティー

研究者間の交流、「深刻な道路公害の広がり」と子供のぜんそく患者の増加の現状、「電力・水道などライフライン設備の老朽化」

「近未来に起こると予測されている東南海沖地震に対する脆弱な自治体の防災対策」

「熱帯夜数全国一の大坂のヒートアイランドの現状と対策」など「住みやすい大阪」への提言と自転車マップづくりの街づくり運動や教育現場での環境教育の実践が報告されました。



挨拶をする芹沢会長



郷土食パーティー風景

集会は「持続可能な社会を確立する大きな運動を」と呼びかけるアピールを採択し、金谷邦夫公害をなくす会副会長の学びの重要性を訴える閉会挨拶で終わりました。

午後5時からは、グリーン会館に場所を移して、90名の参加で「郷土食パーティー」が盛大に和気あいあいに開かれました。

会員の手づくりの品々は好評で、産地直送の「活け魚、いちご」も完売しみんなで楽しい2時間をすごしました。料理を作っていたいただいた皆さん、後片付けにご協力いただいたみなさんありがとうございました。(詳細は後日発行予定の「実行委員会ニュース」で行います)

(4面に関連記事)